

令和7年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立波野小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立波野小学校	http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実是我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

【実施の効果】

1・2年生において外国語活動を導入した特別の教育課程を実施した結果、以下の効果があった。

- ・歌ったり、踊ったりして楽しく活動に取り組み、外国語に慣れ親しむきっかけになっている。
- ・ペアやグループで友達と交流しながら外国語活動を楽しんでいる。
- ・目的・場面・状況をそろえた単元課題を設定し、児童が単元を通して主体的に学べるようにしたことで、多くの児童が楽しみながら、意欲的に外国語でコミュニケーションを

取る姿が見られた。

【手立て】

- ・絵カードや実物を使い、言葉と物の結びつきを視覚的に理解させた。
- ・歌を通じて、楽しく音に慣れ親しんだ。
- ・繰り返し学習し、ゲームやペアワークで積極的に英語を使わせた。
- ・教師が個別に進捗を確認し、適切なフィードバックを行った。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・単元課題を工夫し、相手意識をもって言語活動に取り組めるようにする。
- ・「Small talk」の活動で日常的に、既習表現を用いる時間を確保したり、児童が楽しみながら必要な表現を活用したりできるようにする。
- ・教師が自信をもって外国語の授業を行えるよう、研修を実施し、指導方法の工夫と改善に努める。